

建設

十月號

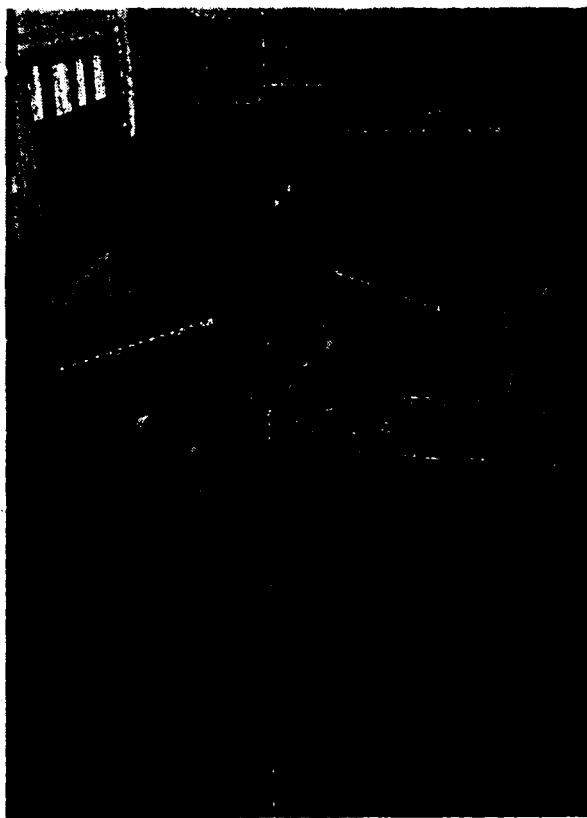
昭和14年

第四卷

第十號

通卷第29號

所	田	尾	島	各
田	尾	島	各	所
青	木	橋	田	野
西	川	橋	島	各
高	田	島	森	村
兵	越	一	木	
松	尾	佐	藤	
島	田	牧	野	



開得海堰堤模型全景

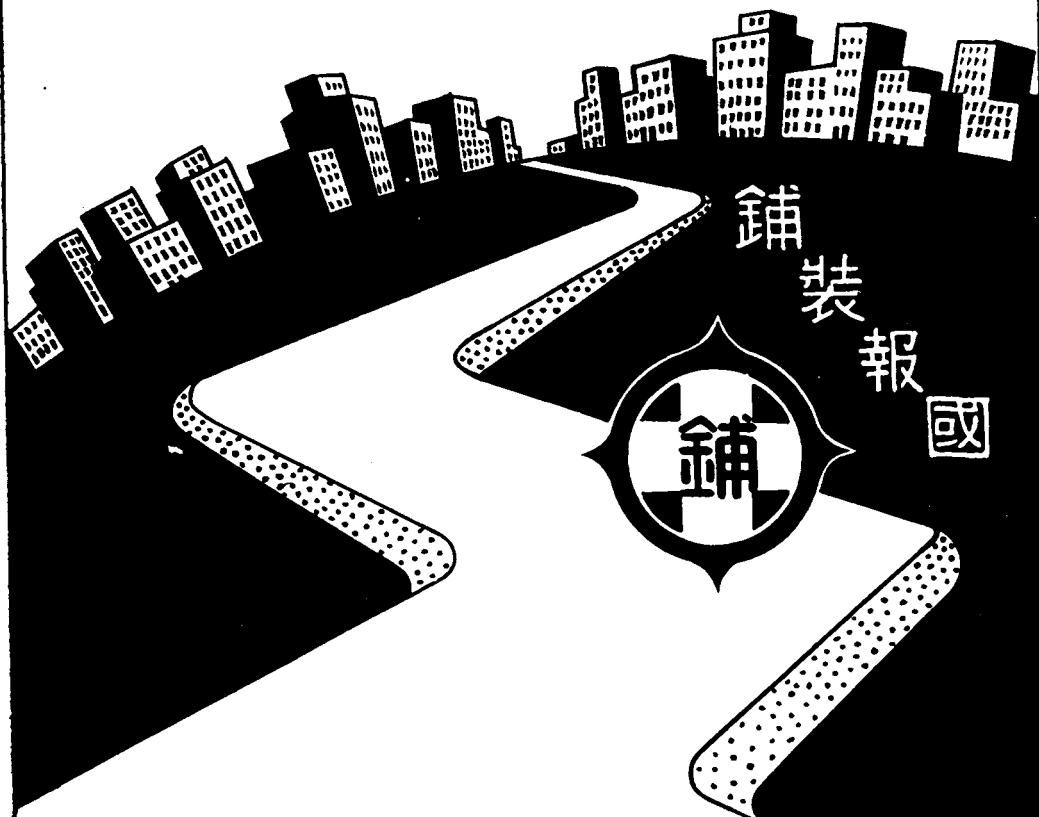
「通水中を下流より望む」

縮小二百分之一

滿洲土木研究會



特許ワーレナイトピチュリシツク舗装
特許ベノリシツク舗装
特許マカダミツクス舗装
アスファルト其他各種舗装並ニ一般土木建築



本社 東京・丸ノ内

日本舗道株式會社

出張所 新京曙町三ノ二二・電話3-4766

各地出張所

東京。横濱。名古屋。京都。大阪。福岡。臺北。札幌。京城

建設

十月號

第 4 卷 第 10 號

通 卷 第 2 9 號

康 德 6 年 10 月 1 日 發 行

目 次

表 紙 開得海堰堤模型全景

口 繪 遼河調査處ニ於ケル水理試験ノ一部

卷 頭 の 辭	1
滿洲の氣象に就て	土佐林忠夫 2
哈大道路に就て	大島秀信 11
松花江河水統制を望む	八十八谷生 24
時局と在滿青年	水野鎬 33
會 報	34
編 輯 後 記	35

廣 告

滿 洲 土 木 研 究 會

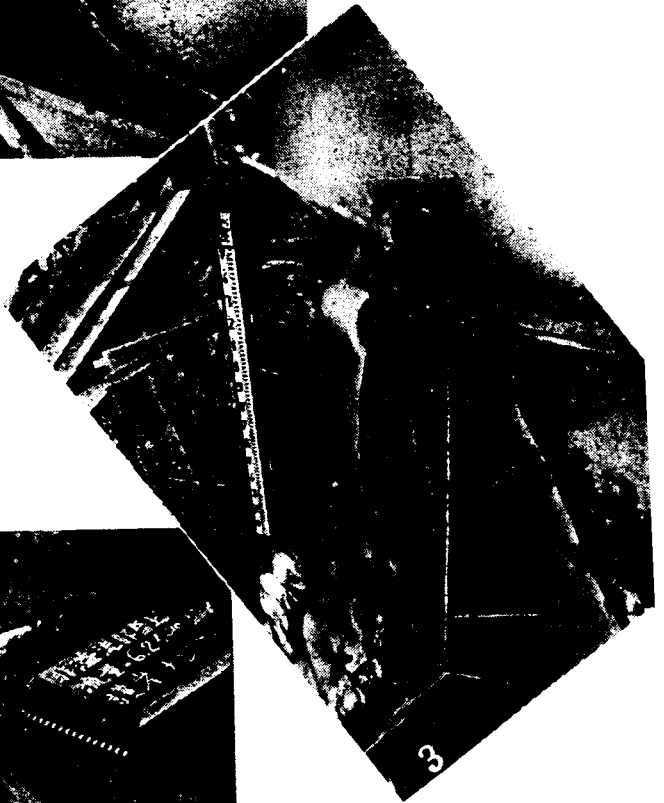
滿洲土木研究會役員

顧問	直木倫太郎	原口忠次郎				
會長	坂田昌亮					
理事	大石義郎	空閑徳平	近藤謙三郎	近藤安吉	重住文男	
	鈴木兵一郎	中島時雄	永田年	沼田征矢雄	藤原健二	
	本間徳雄	町田義知	武藤吉治	吉村富之助		
常任幹事	米田正文					
幹事 (新京)	伊藤貞三	井澤豊通	伊藤茂利三	内田弘四	浮洲實	
	高野宗久	武富美春	寺師虎之助	照井隆三郎	中田正	
	羽中田參次	前田稔	山本將雄	屬秀三	林樹枝	
	佐藤九郎	瀬戸政章				
(地方)	伊知地綱彦	五十嵐眞作	王達	太田哲夫	奥村勝	
	夏儒聘	金山直藏	橋内徳治	田村初代志	木津英次郎	
	黒田重治	佐藤清見	周鴻恩	津田賢次	徳永儀六	
	東城源三	中山太郎	蓮尾誌藏	林鷹一	濱田秀雄	
	廣岡勝治	松本進	三浦漣	岸本朝男	渡部幸三郎	
編輯員	木村晃男	中村佳教	原雪雄			
編輯囑託	濱豪質	湯淺三二郎	(五十音順)			

滿洲土木研究會々則

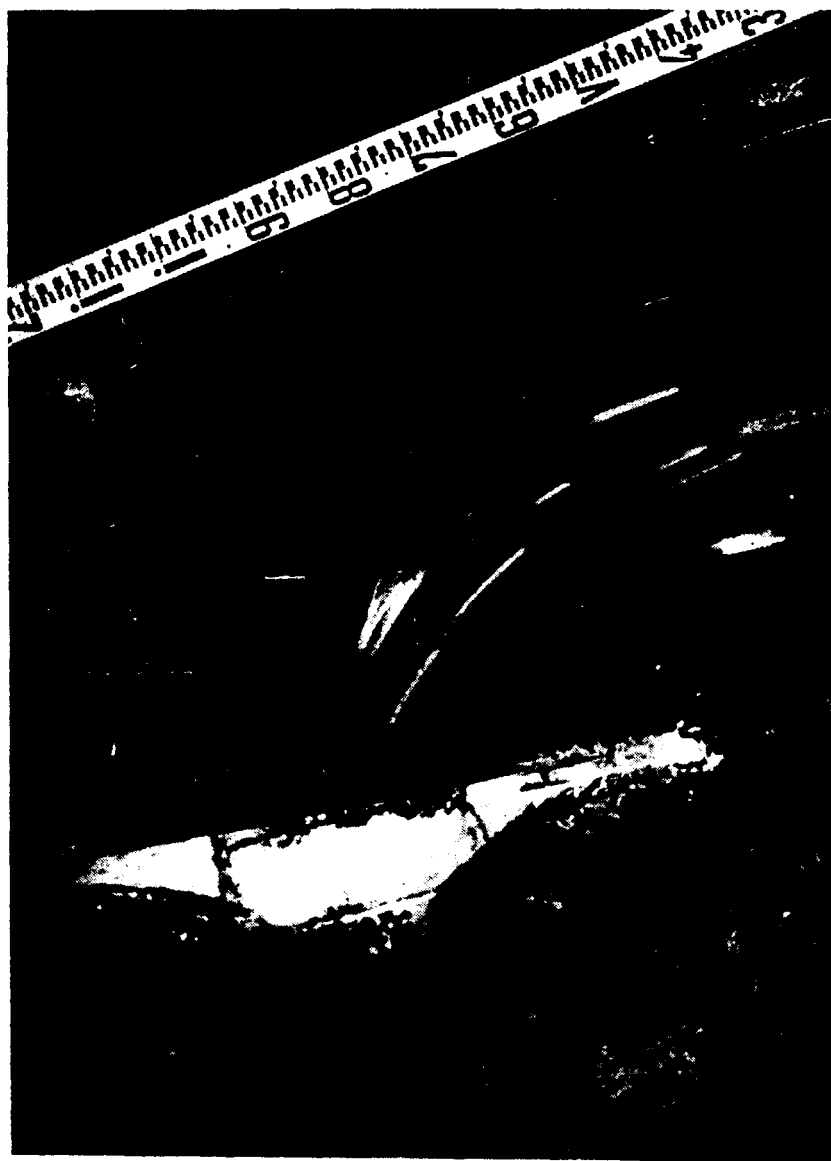
- 第1條 本會ハ土木ニ關スル研究、調査ヲナシ以テ滿洲土木事業ニ貢獻セントスルモノナリ
- 第2條 本會ハ滿洲土木研究會ト稱ス
- 第3條 本會ハ本部ヲ新京ニ置ク、尙必要ナル地方ニ支部ヲ設クルコトヲ得
- 第4條 本會ノ會員ハ特別會員、正會員、學生會員ノ三種トシ左ノ通定ム
1. 特別會員ハ本會ノ趣旨ヲ發シ事業達成ニ協力援助スル法人又ハ團體
 2. 正會員ハ左ノ資格ヲ有スル者トス
 - イ、滿洲ニ於ケル土木事業ニ携ル者
 - ロ、其ノ他土木事業ニ關シ學識經驗アル者
 3. 學生會員ハ公私立土木關係學校ニ在學スル學生、生徒
- 第5條 會費ハ正會員ハ年額6圓、學生會員ハ年額3圓トス
- 第6條 本會ニ會長一名及理事、幹事、委員各若干名ヲ置ク
- 第7條 理事ハ在京會員中ヨリ會員之ヲ選舉シ、會長ハ理事ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
- 第8條 幹事ハ理事會ノ決議ニヨリ會長之ヲ委嘱ス
- 第9條 本會ハ必要ニ應シ各種委員ヲ置クコトヲ得、委員ハ役員會ノ決議ニヨリ會長之ヲ委嘱ス
- 第10條 役員ノ任期ハ一年トス
- 第11條 本會ハ其ノ目的ヲ達成スル爲左記事業ヲ行フ
1. 機關誌ノ發行
 2. 土木ニ關スル圖書ノ編纂發行
 3. 講演會、講習會、見學會ノ主催並ニ後援
 4. 右ノ外本會ノ目的達成ニ必要ナル事業
- 第12條 會則ノ改正ハ役員會過半数ノ承認ヲ要ス
- 附 本會則ハ康德6年1月1日ヨリ施行ス

遼河調査處ニ於ケル水理試験ノ一部



1. 堰堤附近流況寫眞
流量6.21/secを(3500m³に相當す) 彰武工程處案より副堰堤だけ取去り通水せしめたる時の下流流況
2. 彰武工程處案に流量 6.21/secを通水せしめたる時の流況を堰堤眞上より撮影

3. 非溢流部を盛上(設計案に附ては溢流する)副堰堤取付けたる時の流況を左岸上流より望む。流量6.21/sec
4. 寫眞③より副堰堤を取去りたる時の流量6.21/sec



堰堤上流が砂で半分埋つた場合の上流側流向及表面流速をフロートにより測定に水は接近流速を測定するためピトー流速計と併合して測定するものにして露出は1秒流量6.21/sec 彰武工程處案より副堰堤を取去りたるもの。